

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.105号

2018年7月11日発行

春のバザーを終えて

春のグリーンバザーは、花束、苗の販売が主と聞いておりましたが、ポスターの作成、病院事務局との打合せ、手作り小物のラッピング等、事前の準備の大切さを知りました。けれども、やはり前日の花束作りは圧巻！！お手本を参考に各自思い思いに花を束ね、最後にキウイの葉で巻き、完成。それは、それは楽しい作業でした。春のバザーを楽しみにして下さった方も多く、地域に根付いたバザーだと実感いたしました。また、来年、参加できますこと、楽しみにしています。(高橋(好))



ほのかに漂うハーブとアロマオイルの香りに包まれた会場で、楽しげに並んだ野菜や草花の苗、手作り品と共にお客様をお迎えしました。お客様との短いやりとりの中から、それぞれの暮らしや、その先に繋がる想いが感じられます。手渡す度に、平穏な気持ちがぽっと灯るようでした。バザー前日、小さなブーケが次々と束ねられる様子に心踊りました。まるでお花摘みに夢中だった、小さな自分と再会したよう。野の花を紡いでいくたくさんのみどりのゆびたちがつくるバザーには、そんな不思議な魔法があるようでした。これからもお庭を訪ねてくださる皆さまに喜んでいただけますように。(瀧澤)

※バザー収益金 131,170円

今年もリンデンの花が咲きました



大きな木に小さな花を観て
木陰で風と香りを聴き
お茶になって喉を潤す
リンデンは五感を満たす

(仲野)

サマータイムのお知らせ

※8月の活動時間は9:00~11:00

※11:00~ミーティング

※ランチは無し

草屋根堆肥小屋が完成

草屋根堆肥小屋がやっと完成しました。1年前から計画を立て、多くの方々の協力で、素晴らしい堆肥小屋となりました。建築途中には病院の先生方も時々訪れ「堆肥小屋にはもったいないな、ゆっくりお茶でも飲みながら庭を眺めたい」等とおっしゃっていました。これからも長く活用して頂けるとありがたいです。(桑折(清))



三階屋上ガーデンから



病院三階屋上ガーデンは、南から西に広がる山並みを見渡せる気持ちいい場所で、ウッドデッキのガーデンになっています。ここは入院中の患者さんや家族の方、また職員の気分転換と憩いの場所です。

屋上で厳しい環境にあるので、担当で試行錯誤しながら、植栽をし、日々手入れをしています。大小15個の鉢はそれぞれに個性を持たせて、日なたに強く、長く目を楽しませてくれるもの、そよ風に揺れて美しいものなど、寄せ植えの美しさが生かされたらいいと思います。金魚の飼育担当者と共同作業しています。夏から秋にかけてはプランターの朝顔が見頃ごろとなるでしょう。いつか皆さんも来て、観てくださいね。(堀)

コラム No.2 ~皆さん、今、幸せですよ~

私は、主として院内の庭園に設置されているテーブルやベンチなど、強い日差しや風雨にさらされる木製品の寿命が少しでも永らえるよう、ハケを片手に塗装を担当しています。活動全体からすれば目立たない分野ですが、庭を眺めたり、散策しながら様々な思いを巡らしたり、自分自身を見つめる方々の癒しの一助になっているのであれば、幸いと考えています。

話は飛躍しますが、近年、現代人の多くが癒しを求めているといわれています。最近この「癒」という字の会意を調べてみました。「愈」は舟を刃物でくり抜くさま、中をくり抜いた丸木舟。これに「ヤマイダレ」と「心」を加えると、心のしこりが取れる、体の中の病気がくり抜いたように取れるという意味になるそうです。ボランティアの成果は視覚的、定量的に確認出来ませんが、活動を通じ、できるだけ多くの方々が癒しを感じられるよう励んでいきたいと思っています。両親に幼い頃から、「利他の心」を持っている人にはチルチル-ミチルが探し求めていた幸せの青い鳥が必ず足元にやってくると教えられた事を覚えています。皆さん、今、幸せですよ。(諏訪(吉))